

「生産現場の問題解決」

開催日：令和6年11月28日（木）

申込期限：令和6年11月7日（木）

実施会場：ポリテクセンター宮崎

1 | カリキュラム内容

推奨対象者：中堅層

ねらい：生産管理を理解し、生産現場の問題を発見、解決できる知識、技能を習得する。

| 基本項目 | 主な内容 |
|--------------|---|
| 1 生産活動の基本 | (1) 生産活動の基本 ・リーダーが知っておきたい基本的な知識 ・管理とはどういう行動なのか ・生産活動の基礎 (2) 生産管理の仕組み ・スムーズな生産を実現する基本的な生産管理の仕組み ・職場コミュニケーションと一体感のある組織づくり (3) 生産現場の基本であるQSCD ・生産現場を構成する4つの要素（安全・品質・コスト・納期） |
| 2 現状分析とムダの発見 | (1) 問題やムダを発見する力 ・問題とは何か ・ムダ作業と価値作業 ・現場で問題やムダを発見するための切り口 【演習】事例研究によるムダ探し (2) 現状分析に必要な手法 ・I E手法、Q C手法などの紹介 (3) ものづくり現場の5S活動 ・5Sがなぜ必要か ・5S活動の進め方 |
| 3 生産現場の改善 | (1) 改善活動の進め方 ・改善活動の目的と進め方 ・職場での改善活動の実践に繋げる。 (2) 改善活動に効果的な考え方 ・動作経済の4原則 ・ECRSの考え方 ・作業標準化の重要性 【演習】標準作業書の作成 (3) 全員参加で成功体験 ・自主改善のキーワードは「全員参加」と「成功体験」 ・活動事例の紹介 |

※受講者の当日のご様子を見て、主な内容を変更・追加する場合がございます。

2 | 講師紹介



辻 剛（つじ たけし） / 株式会社テクノ経営総合研究所

電機メーカーの生産技術部で設備設計や現場改善に従事。受注生産の仕組み構築やSCM改革等の活動を推進。現在は製造業やサービス業の現場で実践コンサルティングを展開中。一方通行の講義ではなく、対話を通じて理解を深める研修スタイルが特色。

カリキュラム作成のポイント・ひとこと

生産活動の基本及び安全ルール順守の重要性を学び、改善活動を含めて生産現場の目指すべき方向を理解します。改善の基本である5S活動や製造現場における問題発見とムダ取り手法を学び、演習を通じて改善内容の理解を深めていただくことをねらいとしています。